

【提出期限：2023年6月30日】

提出日：2023年6月27日

提出者：白川静記念東洋文字文化研究所長・芳村 弘道

2022年度 研究所事業報告書

研究所名	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所
------	---------------------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5ヵ年)および2022年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうできるだけわかりやすく記述してください。なお、2022年度に採択を受けた研究所重点プロジェクトの実績報告は、書式Bに記述のうえ提出してください。

当研究所の事業は、学術研究と教育文化の二部門をもって活動を継続しているので、各部門別に成果を報告する。

1) 学術研究事業

①白川記念東洋文字文化賞 選考の結果、『香りの詩学』の著者の武庫川女子大学 狩野雄教授に優秀賞を授与することになり、2022年6月25日、第16回の表彰式を仲谷善雄学長臨席のもと、衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルームにて開催し、東洋の文字文化の向上を図った。

②研究紀要の刊行 『漢字学研究』第10号(2022年10月)、『立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要』第16号(2023年3月)を刊行。前者は第1プロジェクトの漢字学研究会による新出土金文の訳注などを掲載。また昨年度開催のオンラインシンポジウム「漢字文化の展望」の成果をまとめ、10号別冊として刊行した。後者には第3プロジェクトの「近衛の漢学研究」班(院生を含む学内5名とオンライン参加の福州大学の黄鶯氏)による、近衛基熙との交流を見る禅僧の桂嶽宗芳の詩集『桂芳集』の解説研究の成果を掲載した。以上の公刊を通じて、学術成果の社会発信を行った。

③立命館土曜講座の担当 2022年12月「立命館土曜講座」(オンライン開催)を担当。「京の手習い—立命館で学ぶ日本語学・日本文学—」のテーマで、第3371回(3日)に小椋秀樹が「現代日本語における漢字の使用実態と漢字政策」、第3372回(10日)に川崎佐知子が「嵯峨本願寺の和漢歌仙」の題目を設定し、豊富な図表・写真資料を提供して講演し、一般社会に「知」の普及を行った。

④研究会活動 第1プロジェクトは、「漢字学研究会」を第100回から第107回まで開催して金文の解説と研究発表を行う。第2プロジェクトは、オンライン併用で、2023年2月25日に「朝鮮渡り唐本研究」の研究発表会を開催、高麗大学の魯耀翰を含む5名の発表を行う。翌日に「日中韓文人交流研究会」の研究発表会を開き、魯氏と台湾大学の余筠琿氏・中山陽菜氏など8名の発表を行う。第3プロジェクトは、昨年度に続き『桂芳集』の会話をリサーチアシスタント高語莎(後期課程院生)も加えた共同研究の形式で4回開催した。また『賀茂旧記』の釈文を駆使した賀茂社の研究を、漢字・漢語の用法に注目して進める。以上の主要な活動を通じて研究水準の向上に努めた。

⑤連続公開講座 高島敏夫客員研究員による「《金文講座》—白川静『金文通釋』に沿って」をYouTube併用で全10回開催。白川博士の重要な研究を一般向けに解説し、社会の文化発展に寄与した。

2) 教育文化事業

①体験型漢字講座「漢字探検隊」

京都・東京・宮城・福島・大阪(OIC)・滋賀(BKC)・香川・兵庫の8箇所で開催。

②学内外機関との連携

学園内では慶祥小学校、立命館小学校・同中学高校、立命館守山中学高校での「白川漢字」の取り組みを支援する。学外では、(公財)日本漢字能力検定協会との連携による「漢字教育士」の養成や産経新聞との共催事業「第13回創作漢字コンテスト」(文化庁・福井県など後援)を開催した。当該コンテストには応募約2万4千件ののぼった。京都漢字ミュージアムの「第2回わたしの好きな漢字展」(11月)の開催。

③地方自治体との連携

福井県における漢字教育を支援する。姫路市立生涯学習大学校「漢字学」の講義を開く。福島市と宮城県角田市での震災復興支援活動「漢字で元気に」を開催する。河内長野市で「漢字」に関する連続講座を再開する。

II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2023年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、若手研究者欄に記載をしてください

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位	
研究所長・センター長	芳村 弘道	文学部	教授	
運営委員	大形 徹	衣笠総合研究機構	教授	
	萩原 正樹	文学部	教授	
	加地 伸行	衣笠総合研究機構	顧問	
	杉橋 隆夫	衣笠総合研究機構	顧問	
	上野 隆三	文学部	教授	
	小椋 秀樹	文学部	教授	
	松本 保宣	文学部	教授	
	石井 真美子	文学部	教授	
	川崎 佐知子	文学部	教授	
	中本 大	文学部	教授	
	前田 亮	情報理工学部	教授	
	湊 宣明	テクノロジー・マネジメント研究科	教授	
	後藤 文男	衣笠総合研究機構	上席研究員	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	岡崎 友子	文学部	教授	
	金津 日出美	文学部	准教授	
	大田 壮一郎	文学部	教授	
学内の若手研究者	① 専門研究員 研究員 初任研究員	斬 春雨	立命館アジア・日本研究機構	専門研究員
	② リサーチアシスタント			
	③ 大学院生	宮本 紗代	文学研究科	博士課程後期課程
		許 曉璐	文学研究科	博士課程後期課程
		黄 錚	文学研究科	博士課程後期課程
		石川 大我	文学研究科	博士課程前期課程
		田中 京	文学研究科	博士課程後期課程
		猪俣 貴幸	文学研究科	博士課程後期課程
松本 理美		文学研究科	博士課程後期課程	
中西 健太		文学研究科	研修生	

④ 日本学術振興会特別 研究員(PD・RPD)	池嶋 美帆	文学研究科	研修生
	草野 友子	立命館大学	日本学術振興会特別研究員 (RPD)
	藤田 優子	立命館大学	日本学術振興会特別研究員 (PD)
その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研究 生、研修生等)	山田 崇仁	文学部	非常勤講師・ 白川研客員研究員
	落合 淳思	文学部	非常勤講師・ 白川研客員研究員
	秋山 陽一郎	文学部	授業担当講師・ 白川研客員研究員・ 大阪府立大学客員研究員
	佐藤 信弥	文学部	授業担当講師・ 白川研客員研究員・ 大阪府立大学客員研究員
	今場 正美	文学部	非常勤講師
	佐古 愛己	文学部	授業担当講師・ 佛教大学准教授
客員協力研究員	高島 敏夫	なし	白川研客員研究員
	阪谷 昭弘	花園中学高等学校	教諭
	笠川 直樹	京都精華学園	理事
	庄 捷淳	中国惠州学院	講師
	臧 克和	華東師範大学	終身教授
	村上 幸造	大阪工業大学	客員教授
	高田 宗平	中央大学	兼任講師
	張 莉 (出野文莉)	大阪教育大学	准教授
	重信 あゆみ	大阪府立大学	客員研究員
	高橋 あやの	関西大学東西学術研究所	非常勤研究員
	洲脇 武志	愛知県立大学	准教授
	末次 信行	千里金蘭大学	元教授
	白須 裕之	京都大学人文科学研究所	助教
	花田 卓司	帝塚山大学	准教授
	松宮 貴之	佛教大学	非常勤講師
	名和 敏光	山梨県立大学	准教授
	上島 理恵子	なし	
	安永 知晃	関西学院大学	非常勤講師
	落合淳思	中国惠州学院	非常勤講師
	張 宇衛	台湾大学中国文学系	助理教授
	余 筠珺	台湾大学中国文学系	助理教授
井ノ口 哲也	東京学芸大学	教授	
梁 曉虹	南山大学	教授	

1	山本 堯	『太古の奇想と超絶技巧 中国青銅器入門』	単著	2023年 月	新潮社	朱雀花子	PP. 88~99
2	張 莉	魏志倭人伝を漢文から読み解く—倭人論・行程論の真実	共著	2022年 11月	明石書店	出野正	PP. 85~112
3	白川静記念 東洋文字文化研究所	『漢字学研究』第10号 (○論説・「大司空村東南地」 25ト辞の分類」石川大我・ 「(資料紹介) 青銅器・晉侯鳥獸 合體尊」末次信行○金文通解・嬭 加編 鐘、笠川直樹・鼎、佐藤信弥・柞伯 鼎、村上幸造・殷簋、三輪健介・晉 公盤、山田崇仁・古文字學研究文 獻提要「林雲の研究より」・甲骨 文中の商代方國聯盟佐藤信弥・眞 核走出疑古時代嗎? : 對當前中國 古典學取向的看法山田崇仁・古文 字轉注舉例、村上幸造・豊豐辨・豊 豊再辨、笠川直樹・長子口墓不是 微子墓、落合淳思 ○古文字學論 著目二〇二〇年古文字學論著目、 横大路綾子)	共著	2022年 11月	立命館大学白川静記念東 洋文字文化研究所		全108頁
4	白川静記念 東洋文字文化研究所	『漢字学研究』第10号別冊 (「漢字文化の展望」を開催して (大形徹)、 東アジア漢字文化の過去・現在・ 未来(金文京)、 簡牘文字「各」旁の省略(曹方 向)、中国古文字のデジタルテキ スト化に関する諸問題(山田崇 仁) オンラインシンポジウム 「漢字文化の展望」鼎談(金文京・ 曹方向・山田崇仁) 通訳、草野友 子、司会、村上幸造、総合司会、山 本優紀子)	共著	同上	同上		全58頁
5	高田宗平	『日本漢籍受容史—日本文化の基 層—』	編著	2022年 11月	八木書店出版部	編者除き執筆者 27 名	編集・698頁十 口絵16頁
6	靳春雨	『中国・日本の詩と詞—『燕喜 詞』研究と日本人の詩詞受容』	単著	2023年 3月	朋友書店		293頁

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共 著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者 名	担当頁数	査読有無
1	石井真美子	『銀雀山漢墓竹簡 〔貳〕 訳注(十三)』	共著	2022年 5月	中国芸文研究会, 学林, 74号	村田進、山内貴	PP. 175- 191	有
2	石井真美子	【資料紹介】「參河郷 友會雑誌」文苑欄掲 載漢詩文題目一覽	単著	2022年 5月	中国芸文研究会, 学林, 74号		PP.248-291	有
3	石井真美子	佐藤碧海の詩と生涯 (上) —三河の 漢詩人(一)	単著	2022年 12 月	中国芸文研究会, 学林, 75号		PP.462-509	有
4	山本堯	「東周青銅器施紋技 法の基礎的検討—侯 馬出土鑄型資料を中 心に—」	共著	2023年 月	『泉屋博古館紀要』第38巻	樋口陽介・内田純 子・新郷英弘	p.25-48	有

5	山本堯	「楚國政權構造試論—考古資料よりみた政權基盤の變遷—」	単著	2022年	『東洋史研究』81(3)、		p.1-38	有
6	山本堯	「殷周青銅器における伝世・復古とその史的意義」	単著	2022年	『考古学研究』69(3)、		p.21-36、	有
7	山本堯	「なぜ祠堂に龍が描かれたのか」	単著	2022年	早稲田大学會津八一記念博物館、『古代中国の神話と祥瑞—武氏祠画像石拓本—』展覧会図録		p.78-79	無
8	山本堯	「中小規模美術館における調査研究のいま—泉屋博古館の実践例から」	単著	2022年	『博物館研究』57(11)		p.15-p18	有
9	山本堯	「東周時代華中地域における青銅葬器生産の変革と画期」	単著	2022年	『考古学雑誌』105(1)		p.81-130	有
10	山本堯	「殷周金文辨偽新考」	単著	2022年	『中国出土資料研究』26		p.29-57	有
11	石川大我	「大司空村東南地J25卜辞の分類」	単著	2022年	『漢字学研究』第10号		P.1-7	有
12	末次信行	「青銅器・晉侯鳥獸合體尊」	単著	2022年	同上		P.9-20	有
13	落合淳思	「形音義による漢字の構成要素の分類」		2022年	『日本漢字學會報』第4号。			有
14	佐藤信弥	「西周金文の製作意図について—同一の事件について記録した金文より探る」		2022年	『立命館東洋史学』第45号		pp.1-25	有
15	佐藤信弥	The transmission of ritual related characters from the Shang to the Zhou: Taking Liao and Di as examples,		2022年	Journal of Chinese Writing Systems vol.6 issue2, East China normal university		pp.111-119	有
16	大形徹	Interpretations of the Term “Fu Yao (扶搖)” in Zhuang Zi [莊子] Outer Chapter Zaiyou [在宥] & Guo Xiang Zhu [郭象注]—Issues Concerning Commentator Approach—		First published online July 24, 2022 2022年	中国文字 英語版 『莊子』外篇在宥篇と郭象注——扶搖の解釈をめぐって——			有
17	佐藤信弥	同「韩伯丰鼎铭与西周时期王命记录的变化」		2022年	『黄河文明与可持续发展』第19輯、河南大学黄河文明与持續發展研究中心、		pp.105-109	有
18	佐藤信弥	「论清华简《摄命》的“蒿京”与西周甲骨文中的“蒿”“京”」		2022年	『國際漢語教育史研究』第3輯、商務印書館、		pp.95-105	有
19	大形徹	「扶桑」		2022年	早稲田大学會津八一記念博物館『古代中国の神話と祥瑞—武氏祠画像石拓本—』展覧会図録		pp.86-87	有
20	大形徹	「車馬」		2022年	同上		pp.82-84	有
21	大形徹	「麒麟」		2022年	同上		pp.80-81	有

22	大形徹	「方相氏」		2022年	同上		pp.76-77	有
23	川崎佐知子	立命館大学図書館蔵『三十番歌合』をめぐって	単著	2022年12月	立命館大学日本文学会、論究日本文学、117号		PP. 1~23	有
24	川崎佐知子	『桂芳集』抄訳註稿	共著	2023年3月	立命館白川静記念東洋文字文化研究所、立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要、	芳村弘道・松尾肇子・中本大・黄鶯・高語紗	PP. 23~25、34~35、42~43、58~60、64~66、59~71、73~80	無
25	萩原正樹	和刻本《事林広記》中所見宋詞—《全宋詞》未収《迎仙客》詞六首	単著	2022年6月	華東師範大学出版社、詞学、47号		PP. 281~318	有
26	萩原正樹	「集曲名詞」考	単著		日本詞曲学会、風絮、19号		PP. 91~115	有
27	萩原正樹	浦川源吾編『支那歴史代純文学選』について—唐宋詞収録の講読用教科書と立命館大学—	単著		中国藝文研究会、學林、75号		PP.510-541	有
28	芳村弘道	「村瀬栲亭の『李太白峨眉山月歌地理指掌図』について」	単著	2022年12月	「學林」第七五号			
29	高田宗平	「作為日本古代漢籍接受形態的“取意略抄”——日本國立歷史民俗博物館所藏反町茂雄舊藏典籍古文書《貞觀政要一節》簡介」(中文)	単著	2022年6月	北京大学出版社、北京大学國際漢學家研究基地編・劉玉才主編『國際漢學研究通訊』第23・24期	劉青 訳	PP50-59	無(依頼有)
30	高田宗平	「楊守敬觀海堂舊藏鈔本《論語義疏》略述」(中文)	単著	2022年7月	中華書局、童嶺編『域外漢籍研究集刊“隋唐中國與域外文獻”專號』第23輯	張名揚 訳	PP.125-148	無(依頼有)
31	藤田優子	「雑劇における詞一度脱劇「劉行首」をめぐって—」	単著	2022年12月	『風絮』第19号		PP.236	無
32	住吉朋彦	「慶應義塾圖書館蔵《論語疏》卷六概述」	単著	2022年6月	「國際漢學研究通訊」第二三・二四期	陳捷 訳		
33	住吉朋彦	「天理図書館蔵五山版考述(一)漢籍之部(上)」	単著	2022年10月	「ビブリア」一五八号、2022年10月			
34	富嘉吟	「『川文粹』考」	単著	2022年12月	「唐代文学研究」第二二輯			
35	張莉	古代中国の「美」の觀念について	単著	2023年3月	立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要第十六號		PP.1-12	無
36	高島敏夫	金文に見る古代語の文字表現(三)—用字の様々な様態	単著	2023年3月	立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要第十六號		PP13-21	無

3. 研究発表等

No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	山本堯	「殷周青銅器における伝世・復古とその史的意義」	2022年4月24日	考古学研究会第68回総会・研究集会	
2	大形徹	「疾病・疫病観」	4月16日	第1回大形科研研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
3	笠川直樹	「曾公求編鐘」	同上	第100回漢字学研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
4	佐々木聡	「発病占の二千年史」	5月21日	第2回大形科研研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
5	笠川直樹	「曾公求編鐘」その二	同上	第101回漢字学研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	

6	多田伊織	「黄色くなる病い」	6月18日	第3回大形科研究研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
7	末次信行	新出資料紹介	同上	第102回漢字学研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
8	六車楓	13:00-14:00 六車楓「清華簡『五紀』の身体と疾病に関する記述について」	7月16日	第4回大形科研究研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
9	笠川直樹	「曾公求編鐘」その三	同上	第103回漢字学研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
10	桂島宣弘	「民衆宗教における「病氣直し」－幕末～明治期金光教における「病氣」と「直し」をめぐる言説と実践－	9月17日	第5回大形科研究研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
11	笠川直樹	「曾公求編鐘」その四	同上	第104回漢字学研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
	山田崇仁	屈子赤目▲竹皿	同上	同上	
12	孫 瑾	「宋の民間医療観と房中術実践」	10月15日	第6回大形科研究研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
13	佐藤信弥	「毛尊・毛貞」	同上	第104回漢字学研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
14	董伊莎	「儒教関係思想における「厲」について」	11月19日	第7回大形科研究研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
15	永原順子	「水難怪異伝承の比較研究－東南アジアでの調査から－」	12月17日	第8回大形科研究研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
16	村上幸造	「戎生編鐘」	同上	第105回漢字学研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
17	田 天	「秦漢出土病方的発現と発展」	1月21日	第9回大形科研究研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
18	三輪健介	「衍簋」	同上	第106回漢字学研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
19	白山友里恵	「病因として機能する「蟲」と風－『諸病源候論』を手掛かりに」	2月18日	第10回大形科研究研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
20	佐藤信弥	「春秋諸侯の西周史認識」	同上	第108回漢字学研究会・コンソーシアム京都6階立命館講義室	
21	末次信行	新出資料紹介	同上	同上	
22	張莉	日本漢字・仮名文化	2022年4月29日	山東藝術學院書法学院 書法専攻国家級一流本科専攻建設系列オンライン講座	山東藝術學院書法学院院長 顧亜龍
23	張莉	漢字工作坊: 日文中の同形異義字	2022年12月5日	台湾慈濟大學「亞洲文明的堅強與東亞文化的柔軟-中日語言工作坊」オンライン講座	
24	川崎佐知子	『桂芳集』209番詩	2022年6月	第十四回「近衛家の漢学」研究会、立命館大学衣笠キャンパス(京都市北区) およびZOOMによるオンライン併用開催	
25	川崎佐知子	『桂芳集』216番詩	2022年7月	第十五回「近衛家の漢学」研究会、立命館大学衣笠キャンパス(京都市北区) およびZOOMによるオンライン併用開催	
26	川崎佐知子	『桂芳集』223番詩	2022年8月	第十六回「近衛家の漢学」研究会、立命館大学衣笠キャンパス(京都市北区) およびZOOMによるオンライン併用開催	
27	萩原正樹	「集曲名詞」考論	2022年5月	第十七届「文学与美学」国際學術研討會 於台灣淡江大學	
28	萩原正樹	愛好唐宋詞的又一位日本学者—浦川源吾与其所編《支那歷代純文學選》—	2022年11月	華東師範大學「東亞詞學文獻整理與研究」學術研討會 於華東師範大學	
29	萩原正樹	「鷗夢新誌」に見える中国の詩人	2023年2月	白川研第二研究プロジェクト「日中韓漢籍研究」日中韓文人交流研究會	
30	芳村弘道	「朝鮮渡唐本研究」	2022年5月	第二屆古籍文獻收藏、研究及整理出版國際學術論壇、北京大學中國古文獻研究中心	

31	芳村弘道	「朝鮮渡唐本研究」	2022年5月	温州大学人文学院	
32	芳村弘道	「朝鮮渡唐本研究」	2022年5月	広西師範大学出版社	
33	魯耀翰	「李朝前期における王安石詩集の輸入と再編について」	2023年2月	「朝鮮渡り唐本の研究」報告会	
34	富嘉吟	「掖斎旧蔵宋本『竹友集』について」	2023年2月	「朝鮮渡り唐本の研究」報告会	
35	住吉朋彦	「今関天彭の漢籍蒐集と文献学」	2023年2月	「朝鮮渡り唐本の研究」報告会	
36	芳村弘道	「二〇二二年度の朝鮮渡り唐本の調査報告」	2023年2月	「朝鮮渡り唐本の研究」報告会	
37	萩原正樹	「『鷗夢齋誌』に見える中国の詩人」	2023年2月	「朝鮮渡り唐本の研究」報告会	
38	井上充幸・猪俣貴幸	「蓬左文庫蔵『銅人臉穴鍼灸図経』拓本とその来歴について—17世紀前半の東アジアにおける学術交流史解明の手がかりを探る—」	2023年2月	「日中韓文人交流研究会」	
39	斬春雨	「山田政苗『蟻堂詩鈔』及び所収詞三首」	2023年2月	「日中韓文人交流研究会」	
40	中山陽菜	「大正・昭和期的漢詩壇：漢詩月刊《文字禪》及其續刊《漢詩春秋》的投稿状況」	2023年2月	「日中韓文人交流研究会」	
41	魯耀翰	「『芝城山館納涼唱和集』に現れる日韓文人の詩文唱和について」	2023年2月	「日中韓文人交流研究会」	
42	余筠瑋	「久保天隨與臺灣詩社」	2023年2月	「日中韓文人交流研究会」	

4. 主催したシンポジウム・研究会等

No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第100回漢字学研究会・第1回科研研究会	キャンパスプラザ京都	2022年4月21日	21名	科研研究会は1時から2時、漢字学研究会は2時から5時、オンライン併用。
2	第101回漢字学研究会・第2回科研研究会	同上	5月21日	23名	
3	第102回漢字学研究会・第3回科研研究会	同上	6月18日	19名	
4	第103回漢字学研究会・第4回科研研究会	同上	7月16日	15名	
5	第104回漢字学研究会・第5回科研研究会	同上	9月17日	21名	
6	第105回漢字学研究会・第6回科研研究会	同上	10月15日	12名	
7	第106回漢字学研究会・第7回科研研究会	同上	11月19日	11名	
8	第107回漢字学研究会・第8回科研研究会	同上	12月17日	25名	
9	第108回漢字学研究会・第9回科研研究会	同上	1月23日	25名	
10	第109回漢字学研究会・第10回科研研究会	同上	2月18日	22名	
11	『千金翼方』禁経、釈読会 隔週木曜日	オンライン	5月5・19、6月2・16・30、7月14・28、8月11・25、9月8・22、10月6・20、11月3・17、12月1・15・29、1月12・26、2月9・23、3月9・23	5月5(11名)・19(14名)、6月2(17名)・16(16名)・30(13名)、7月14(16名)・28(17名)、8月11(13名)・25(17名)、9月8(14名)・22(14名)、10月6(14名)・20(12名)、11月3(12名)・17(13名)、12月1(13名)・15	

				(13名)・29(13名)、1月12(11名)・26(14名)、2月9(14名)・23(12名)、3月9(13名)・23(15名)	
12	「朝鮮渡り唐本の研究」報告会	衣笠キャンパス清心館206号教室	2023年2月	100	
13	「日中韓文人交流研究会」	衣笠キャンパス	2023年2月		
14	東亜漢籍交流学会議 特別講演	オンライン	2022年11月	200	高麗大学校・南京大学

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）					
No.	氏名	研究業績名	発表場所等		研究期間
1	大形徹	コラム 荘子と語る	東大阪新聞 八尾柏原版 毎月1回掲載		2022年4月～2023年3月
2	張莉	魂鎮めと御霊神社—『真』の字源を探求	奈良シニア大学講演（奈良市中央公民館）		2022年4月28日
3	張莉	こわくてゆかいな漢字～十二支の漢字物語	朝日カルチャー文化講座（オンライン）		2022年6月28日
4	張莉	十二支の縁起と漢字	福井県教育庁生涯学習・文化財課「白川文字学講座」		2022年8月20日
5	張莉	倭人の源流『西双版納』を訪ねて—古俗の中で蘇る文字	奈良シニア大学講座（奈良文化会館2階小ホール）		2022年9月8日
6	張莉	漢字から見る人の一生～こわくてゆかいな漢字	朝日カルチャー文化講座（オンライン）		2022年9月20日
7	張莉	こわくてゆかいな漢字～食と酒の漢字	朝日カルチャー文化講座（オンライン）		2022年12月6日
8	張莉	倭人の源流『西双版納』を訪ねて—古俗の中で蘇る文字	大阪シニア大学講座（今福ファミリータウン地下1階）		2022年12月23日
9	張莉	古代の民俗の中で甦る—倭人の源流『西双版納』を訪ねて	みのお中国文化に親しむ会 箕面文化・交流センター（サンプラザ1号館）4階会議室		2023年2月9日
10	張莉	中国少数民族『西双版納』の民俗と文化	京都高齢者大学校 公開講座		2023年2月17日
11	張莉	こわくてゆかいな漢字～古代中国人の夢	朝日カルチャー文化講座（オンライン）		2023年3月21日
12	大形徹	YouTube 中国—日本を横断した病と鬼の研究<その1>	Garage Labo Tokyo【シャナナTV】 https://www.youtube.com/watch?v=WQtGmHifDt0		2022年5月16日
13	大形徹	YouTube 中国—日本を横断した病と鬼の研究<その2>	Garage Labo Tokyo【シャナナTV】 https://www.youtube.com/watch?v=0RxCZ5vLlhw		2022年5月23日
14	大形徹	YouTube 中国—日本を横断した病と鬼の研究<その3>	Garage Labo Tokyo【シャナナTV】 https://www.youtube.com/watch?v=TXdYt-9mW9U		2022年5月30日
15	大形徹	YouTube 中国—日本を横断した病と鬼の研究<その4>	Garage Labo Tokyo【シャナナTV】 https://www.youtube.com/watch?v=TXdYt-9mW9U		2022年6月3日
16	大形徹	漢字の名著この一冊 白川静著『字統』	漢字の窓 第四巻 第1号（通巻7号）44-45頁。日本漢字能力検定協会漢字の窓		2022年6月30日
17	大形徹	コラム ゲーム・遊び	RADIANT ISSUE17 特集 ゲーム・遊び 2022 column #1 白川学の世界 p.30.		2022年6月
18	大形徹	くらしの数字考「漢字6万字、日本で使うのは4% 「死字」や「逆輸出」も	紙媒体とweb版 https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UD231WQ0T20C22A5000000/		2022年6月4日
19	芳村弘道・大形徹	豊かな漢字文化から東アジアを一望する 白川静記念 東洋文字文化研究所 所長 芳村弘道 先生（文学部 特任教授） 副所長 大形 徹 先生（衣笠総合研究機構 教授）	立命館大学 知の拠点を訪ねて vol.1 https://www.ritsumeit.ac.jp/news/detail/?id=2749		2022年8月

20	大形徹	コラム 地域	ラディアント 特集地域2022 column #1 白川学の世界 p.30.	2022年11月
21	大形徹	コラム 再生	ラディアント 特集再生 column #1 白川学の世界 p.30.	2022年3月
22	大形徹	「髑髏問答」「意を得て言を忘る」「無為謂」「具解(一)」「具解(二)」「神人」「真人」「道はどこにある」「死生は命なり(一)」「死生は命なり(二)」「真宰(一)」「真宰(二)」	東大阪新聞 八尾・柏原版 連載 荘子と語る 22~31	2022年4月~2023年3月
23	大形徹	道教・老庄対日本及亞洲文明多样性的影响和价值	博鳌亞洲论坛 2022 年會分會 “亞洲文明：多元共生，面向未來”	2022年4月20日
24	大形徹・山本優紀子・池内早紀子	茅の話・月の中にウサギとカエルがなぜいるのか	十五夜シンポジウム第3回 日中韓シンポジウム、9.18 もあり。宮崎公立大学民俗学研究室、平和台公園レストハウス二階、宮崎公立大学学術研究推進助成事業	2022年9月11日
25	大形徹	出土文字資料と字書、出土図像資料と文献解釈①「扶搖」と「扶桑」、②「始」と「胎」をめぐって一	中国出土文献研究会 2022.09.23	2022年9月23日
26	大形徹	龍角考 1,2 麒麟の角	中国海洋大学オンライン講義	2022年9月30日
27	大形徹・松浦史子	「中国の神話と文学」、	東京大学、文学研究科、法文一号館一階114教室 オンライン併用	2022年11月14日
28	大形徹	鬼系の病因論と気系の病因論	大阪伝統生薬研究会、令和4年度第3回研究会、大阪市北区梅田1-12-12 東京建物梅田ビル B1F	2022年12月11日
29	大形徹	麒麟について	早稲田大学會津八一記念博物館、祥瑞研究会、オンライン併用	2022年12月27日
30	大形徹	馬王堆の『胎産書』の占いについて他	公益社団法人 日本易学連合会 近畿支部 オンライン併用	2023年4月9日
31	川崎佐知子	第十四回「近衛家の漢学」研究会	立命館大学衣笠キャンパス(京都市北区)および ZOOM によるオンライン併用開催	2022年6月
32	川崎佐知子	第十五回「近衛家の漢学」研究会	立命館大学衣笠キャンパス(京都市北区)および ZOOM によるオンライン併用開催	2022年7月
33	川崎佐知子	第十六回「近衛家の漢学」研究会	立命館大学衣笠キャンパス(京都市北区)および ZOOM によるオンライン併用開催	2022年8月
34	川崎佐知子	第十七回「近衛家の漢学」研究会	立命館大学衣笠キャンパス(京都市北区)および ZOOM によるオンライン併用開催	2022年9月
35	花田卓司	建武政権の恩賞政策	近鉄文化サロン(阿部野)	2022年6月
36	花田卓司	南北朝時代の大和	三郷町歴史教養講座	2022年7月
37	花田卓司	足利氏と足利荘	朝日カルチャーセンター(中之島教室)	2022年8月
38	花田卓司	足利義氏と北条義時・泰時	朝日カルチャーセンター(中之島教室)	2022年8月
39	花田卓司	得宗専制と足利家時・貞氏	朝日カルチャーセンター(中之島教室)	2022年9月
40	花田卓司	足利尊氏・直義兄弟と観応の擾乱	近鉄文化サロン(阿部野)	2023年2月
41	花田卓司	南北朝の内乱と人間ドラマ解説(学ぶ 磨く 中日文化センター訪問)	中日新聞(2023年2月25日朝刊)	2023年2月
42	花田卓司	赤松円心―北朝擁立の発案者―	朝日カルチャーセンター(中之島教室)	2023年3月
43	花田卓司	高師直一文武両道だった尊氏の執事―	朝日カルチャーセンター(中之島教室)	2023年3月
44	花田卓司	京極導誉―義詮を支えた「前代以来の大名」―	朝日カルチャーセンター(中之島教室)	2023年3月
45	萩原正樹	(講演)白川静と詩経	第三回福井県白川文字学ゼミ講座として YouTube 配信	2023年2月1日~2月14日
46	高田宗平	「漢籍受容の形態としての「取意略抄」―国立歴史民俗博物館所蔵『貞観政要一節』をめぐって―	立命館孔子学院・中国古典文化講座・立命館大学洋洋館2階講義室	2022年12月3日

47	高田宗平	書評／解説／選評『日本漢籍受容史：日本文化の基層』（八木書店出版部）	ALL REVIEWS、ALL REVIEWS 株式会社 https://allreviews.jp/review/	2022年11月30日～
48	靳春雨	「経学者佐藤一斎の填詞一新見六首をめぐって」	第七十四回大会日本中国学会 早稲田大学	2022年10月9日
49	靳春雨	「高青邱詩的伝播：長三洲和近藤元粹の次韻詩」	第四届智能媒体与诗礼文化研究国际论坛、上海大学文学院	2022年10月22日
50	小椋秀樹	第3371回「現代日本語における漢字の使用実態と漢字政策」	立命館土曜講座	2022年12月
51	川崎佐知子	第3372回「嵯峨本願寺の和漢歌仙」	立命館土曜講座	2022年12月

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1					

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	大形 徹	東アジア漢字文化圏の疾病・疫病観の史的・現代的展開—鬼系病因論の起源と思想的水脈	基盤研究(B)	2022年4月	2026年3月	代表
2	石井真美子	同 上	同 上	同 上	同 上	分担
3	佐藤信弥	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上
4	山田崇仁	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上
5	落合淳思	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上
6	名和敏光	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上
7	山田崇仁	中国殷周金文のデジタルテキスト作成に関する基礎的研究	基盤研究(C)	2022年4月	2026年3月	代表
8	山田崇仁	情報化時代における佚文収集の手法についての研究：大蔵経からの抽出を事例として	基盤研究(C)	2018年4月	2023年3月	代表
9	落合淳思	漢字の部首（字素・意符）の多様性とその時代的変遷	基盤研究(C)	2022年4月	2026年3月	代表
10	佐藤信弥	同 上	同 上	同 上	同 上	分担
11	名和敏光	中国古代術数における占術と儀礼	基盤研究(C)	2022年4月	2026年3月	代表
12	名和敏光	5～12世紀の東アジアにおける〈術数文化〉の深化と変容	基盤研究(B)	2020年4月	2023年3月	分担
13	山本 堯	画像・出土器物・文献資料による古代東アジアにおける饗宴システムの復元と比較研究	基盤研究(B)	2022年4月	2026年3月	分担
14	山本 堯	古代東アジアの祥瑞と王権：漢～唐代成立の瑞獣画像をめぐる学際的研究	基盤研究(B)	2022年4月	2026年3月	分担
15	大形 徹	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上
16	白須裕之	古典漢文依存文法コーパスにもとづく係り受け構造の自動抽出	基盤研究(B)	2020年4月	2023年3月	分担
17	村田右富実	上代特殊仮名遣いを区別した『万葉集』の複数テキスト構築とその統計学的研究	基盤研究(C)	2020年4月	2025年3月	代表
18	笹原宏之	木簡等の研究資源オープンデータ化を通じた参加誘発型研究スキーム確立による知の展開	基盤研究(S)	2018年4月	2023年3月	分担
19	笹原宏之	現代日本における人名使用漢字の字種・字体・読み方に関する実証的研究	基盤研究(C)	2022年4月	2025年3月	代表
20	川崎佐知子	「嵯峨本願寺資料」に関する総合的研究	基盤研究(C)	2020年4月	2023年3月	研究代表者

